

アート、みつけよう！福岡のアート情報誌 [wa]

VOL.62
2014
SUMMER

LIFE IS ART

森村泰昌

Inspiring Talk

江口カン×瀬戸島正治

福岡とヨコハマを「忘却」でつなぐ



© Morimura Yasumasa + ROJIAN

森村 泰昌

本業は「美術家」なのだが、今はヨコハマトリエンナーレ2014（以下、ヨコトリ）の芸術監督を務めている。今夏、8月1日に開幕なのでもう火がついている。最近横濱と住まいのある大阪を行ったり来たりの日々である。

こんな話をしても、福岡の皆さんには他人事のように聞こえるかもしれない。しかしじつはそうでもない。というのも今回のヨコトリには、福岡アジア美術トリエンナーレが乗り入れるからである。この計画、密かに進めてきたのだが、先日の記者会見でようやく公表することとなった。

ヨコトリに福岡アジアが乗り入る？ なんとというか横濱に福岡がやってきて暴れるという感じなのだが、まったく迷惑なことではない。むしろ活発な往来があつて、それぞれが開かれた展示会になっていくほうがおもしろい。両者間で火花が散って、それが刺激になって、美術の現場が活性化されたいと思う。

今回のヨコトリのテーマは、「忘却」である。すっかり忘れてしまった大切なものや出来事が、歴史的にも、社会的にも、そして私的な

生活においても、いっぱいあるだろう。あるいは、情報化時代といわれる現代において、情報化されなかったり、情報化することが許されなかったり、そういう事態も無数に埋もれていることだろう。有用性や効率や経済効果が求められる現代社会では、役に立たない仕事、役目を終えて捨てられたゴミ、無価値、失敗といったものは、世の中から排除され、忘れられていくだろう。それら多様で膨大な量の「忘却」に目を向けることは、決して無意味ではないはずである。

たとえば人間は、役に立つかどうかとは無関係に、それぞれの輝きをどこかに隠し持っている。その輝きが美であり感動であつて、有用性の有無が人間の値打ちのバロメーターなのではない。そういう思いを「忘却」というテーマに託してみたかった。

そしてこの「忘却」というテーマに即しつつ、これまでの福岡アジア美術トリエンナーレおよび今年の第5回展のなかから選出された作品の展示を、ヨコトリに組み込んだ。作品選定は、もちろん福岡アジア主導である。

同じテーマをあつかっても、ヨコトリが選ぶのと福岡アジアが選ぶのでは、内容やテイストがずいぶん違っている。しかし底に流

もりむらやすまさ ● 美術家。1951年生まれ。セルフポートレート手法による写真作品で知られる。今夏開催のヨコハマトリエンナーレのアーティストディレクター。最近の個展に、「ペラスケス嬢：侍女たちは夜に甦る」（資生堂ギャラリー）、「Theater of Self」（ウォーホル美術館）。著書多数。2011年秋に紫綬褒章授与。横浜トリエンナーレ公式サイト <http://www.yokohamatriennale.jp/>



絵画の国に住む至女カラー写真(2013)

れる「忘却」というテーマは共にキープされている。言葉は違うが思いは同じ、異質と共通、オモテのイメージとウラの精神、そういう「違い」と「同じ」の絶妙な関係が、次第に両者の間に生まれて来たように思われる。

今夏、ふたつのトリエンナーレは開催時期が重なる。福岡の人が横浜トリエンナーレを見る、横浜の人が福岡アジア美術トリエンナーレを見る、海外から来た人が、ふたつのトリエンナーレを同時期に一挙見て帰る。なかなかよろしいんじゃないだろうか。



COVER ARTIST チェン・イージエ Agi CHEN

PROFILE//////////
現代アーティスト。1979年台湾生まれ。アニメキャラクターを用いた作品で注目される。2005年台北アートアワードで最高賞を受賞。台湾内外で個展を開催。日本をはじめ、世界で滞在・制作している。福岡アジア美術トリエンナーレ2014の参加作家。

Q 円の作品は何を表している？

アニメキャラクターの色を分析し、抽出し、同心円に転換しています。現代人は、漫画やアニメを繰り返し見ることによって視覚的な記憶を形成しています。私は作品を通じて、人々の視覚的な記憶を集積した、抽象的で目には見えない現実に近づきたいと思っています。

Q これまで作品にしたキャラクターの数は？

200種類以上です。台湾には独自のアニメが少ないので、ほとんどが日本やアメリカのもので。2012年からフェイスブックに「サークル・アイランド」というコミュニティを作り、参加者からの注文で作ってきました。つまりこの作品群は、台湾の人たちのアニメについての記憶を集積したデータベースだと言えます。

Q これからどんな活動をしていきたい？

今の形にとらわれず、パブリックアートなど、多様な見せ方に挑戦したいです。今回の福岡アジア美術トリエンナーレでは、日本の人たちのアニメについての集積的記憶も集めて、台湾との違いを比べてみたいです。福岡の人たちと交流できるのを楽しみにしています！

サークル・アイランド Circle Island 2012

イベント情報

第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014
期間：9月6日(土)～11月30日(日)
会場：福岡アジア美術館ほか
公式サイト <http://fukuokatriennale.ajibi.jp/>
*チェン・イージエは、オープニング当日のギャラリートークに参加予定。



VOL.62 SUMMER CONTENTS

- 02 COVER ARTIST
チェン・イージエ
- 03 LIFE IS ART
森村泰昌
福岡とヨコハマを「忘却」でつなぐ
- 04 Inspiring Talk
福岡で作ること、を語ろう
江口カン×瀬戸島正治
- 07 愛でたし伝統文化
第一回 博多織
- 08 ART TRIP in KYUSHU
太宰府 神社とアートのしあわせな関係
- 09 PICK UP MOVIE
「ピヨンド・ザ・エッジ 歴史を変えたエベレスト初登頂」
- PICK UP EVENT
「d編集部が福岡ぐるぐる」
- 季刊 福釜藝術放談 (9)
「交流」の先には…
- 10 +ART
「ゾウとジャングル」太田宏介
- 11 セリフからはじめる演劇の話
「私たちは時々、目ではなくて脳で見ると、相手を。」
後藤香
- 12 FFAC INFORMATION
PICK UP GOODS 「FUKUOKA OSANPO bag」
- 14 ART EVENT CLIPS
<コラム> 福岡ギャラリーさんぽ
HEIS GALLERY

<コラム> おしゃべりな学芸員
福岡アジア美術館

読者プレゼント

江口カン

1967年生まれ。福岡県久留米市出身。九州芸術工科大学卒業後、1997年「KOO-KI」共同設立。TVCMや映画などエンタテインメント性の高い作品を手がける。「カンヌ国際広告祭FILM部門」金賞など受賞多数。



それしかないと思います。特に福岡みたいな所で何かを作ろうとする時は。

▼瀬 たとえば東京での仕事は現地集合・現地解散が多いけど、福岡は基本的にみんなで行って、終わったら「反省会」と称してそのまま飲みに行くのがワンセットになっている。

▼江 反省したことないけどね(笑)

▼瀬 街の規模的にも、仕事だけで人がつながるより、人間関係が軸にありますね。逆に言うと、「あいつ好かん」と思っても、信頼を裏切るようなことはできない。

▼江 確かに東京の現場では、この人と合わないなって時は「もういいや」って途中で止めることもあって、クリエイターとして成長していく意味では、それが純粹だな



瀬戸島正治

1967年生まれ。福岡県直方市出身。中央大学文学部卒。テレビ西日本入社後、報道部記者、大阪支社営業部を経て現在、編成制作局制作部長。バラエティ番組、ドキュメンタリー番組などを中心に制作。

とも思ってますよ。「あの人と仲良くするために、この仕事しごと」みたいな、しがらみに縛られないので。でも、何か大きなことをしようとする時、すごい「熱」が必要な時がありますよね。福岡みたいな人間関係でグイグイ進む時は、そういう熱を生み出すものだなと思います。

▼瀬 やっぱ、体重かけて作れるものは地元のもですね。東京で何か作ろうとしても力の入れ方がわからないけど、福岡ならわかる。

▼江 僕は福岡を拠点にしていることについてよく聞かれるんだけど、決して福岡のほうが良いものが出るという理由で選んでいるのではなくて、色んな偶然が重なって、結果的にこのやり方を続けてきただけなんです。でも気がつけば、それ自体が作り手としての

自分を形成する大きなベースになった。「めんたいびりり」はそのベースがあつてこそ生まれた仕事です。

福岡で作る福岡の話

▼瀬 「めんたいびりり」は、まずは福岡の人に愛されるものを作ろうと思っていましたよね。

▼江 福岡の人は地元作品に対して評価が辛いらね。

▼瀬 おかげさまで視聴率も伸びて、話題にもなっていただけで良かったです。

▼江 ツイッターとか見ると、博多弁が自然だったという声が多くて、基本だけと大切に思いました。

▼瀬 福岡出身の出演者とか、本物の山笠(※1)の方に出ているかどうか、地元の人が見ても違和感がないと思います。主演の華丸さんが山笠の時の法被を着ているポスターがあるんですけど、ある流(※2)の偉い人が、「華丸の長法被の着こなしはよかね」。あれを手にしろ」って仰っていたらしいです。あれは嬉しかったですねえ。

▼江 へえ(笑)

▼瀬 でも、僕たちは福岡で福岡のドラマを作ったわけですが、いざばん見るとほしいのは夫婦愛だったり、ご近所づきあいだったり、笑えて、泣けて、面白いという物語その

*1 福岡市博多区で毎年7月1日～15日に開催される博多伝統の祭。
*2 十数か町(旧町)を束ねた組織の呼称。現在七つの流がある。
参考：博多祇園山笠公式サイト <http://www.hakatayamakasa.com>

空気株式会社 代表 / 映像ディレクター

江口カン



テレビ西日本制作部長 / プロデューサー

瀬戸島正治



熱を生み出す人間関係

▼瀬戸島(以下、瀬) 最初は仕事ではなく、6年前に知人の紹介で会いましたね。

▼江口(以下、江) こいつらくっつけたら面白くなるだろうなと思っただけじゃない(笑)

▼瀬 その後、僕がドキュメンタリー番組で監督の密着取材をさせてもらった。よく飲みながら、「あれしたい、これしたい」って話をしましたね。そんな中でドラマ「めんたいびりり」(※6参照)の企画をいただいたんです。

▼江 明太の「ふくや」と一緒に何か作りましょうってことになった時、瀬戸島さんと朝の連続ドラマをやったら面白いんじゃないかと思っただけ。聞いてみたら「いいですね」って言ってってくれて。

▼瀬 個人的にはですよ(笑)。内心、僕ひっくり返りましたもん。地方局が毎日連続で自主放送枠を確保するのは大変なことなので。

▼江 プレゼンでは、みんな最初ポカンとしてたもん(笑)

▼瀬 でも偶然、最初のドキュメンタリー番組で監督の仲良しとして登場してもらった人たちがその企画に関わっていたんです。今考えれば、暗示的でした。これはチャレンジすべきと思って会社を説得しました。

▼江 人の縁って面白いし、結局



福岡で作ること、を語ろう

撮影協力：柳田神社、はかた伝統工芸館

を求められることが多いんですよ。でも地方都市である福岡ではまだ「単純に面白い」だけで人が集まれるし、他の地方都市よりも「面白い」に食欲がわきます。

▼瀬 冷めるのも早いんですけどね(笑)。「めんたいびりり」も2回目、3回目を狙っているのですが、じわじわ温めていきたいです。

▼江 山笠は700年以上続いているからなあ。続く時は続くんじゃないかな(笑)

▼瀬 山笠も、もとは櫛田神社の地域の祭りですね。小さいコミュニティを背負っていたものが、今や福岡を背負ってますもんね。僕たちの仕事も、小さいテレビ局でやってたのが福岡を背負って、全国や世界に飛び出すのが理想ですね、山笠方式で。

▼江 上手いこと言うねえ。

▼瀬 あんまり簡単に使うと怒られちゃうけど(笑)。僕は監督とこの作品に出会えたことで、たとえ引っかけ傷、程度でも、福岡を元気にしたいと思うようになりましたね。監督にとって「めんたいびりり」はどんな仕事だったんですか。

として映像を注文されて作るよりも断然意味があるし、最高に面白いことなんです。今回それが出来て本当に良かったです。

「モチたい」が原動力

▼江 常々思っているんですけど、ディレクターとプロデューサーの二人の関係性においては、ディレクターって女なんです。プロデューサーは男で。

▼瀬 わかる、それ(笑)

▼江 どういうことかと言うと、監督は「こういうことやると映像が素敵になるな」と思っていて、「ねえ買ってよ、こんな服着たいのよ」とおねだりするんです。それに対してプロデューサーは男仕事で、「ほんとにこの服着るわけ?」とか言いながら、買ってくれたりくれなかったりする。買ってもらったために、こっちは「いい女」でないといけないし、買ってもらえなくなったらもうその関係は終わりだから。瀬戸島さんは筑豊出身だからか、なんかこう腰が座つてるといふか、男前だなあって思う。逃げないっていいか。

▼瀬 僕はいつも監督は乙女だと思って接してます(笑)。デリケートですから。でも監督の影響で、僕の仕事の仕方も変わりましたよ。「江口組」と言いますが(笑)、監督たちはいいものを作るためなら怒鳴り合いのケンカもします。でも終われば後腐れなく一緒に飲みに行ったりして。普段、僕がテレビ局で働いていてそんな経験はあまりありません。それは僕にとってすごく新鮮で、僕たちもどどんやっというんだと思っただけです。

▼江 色々選択しなきゃいけない時に、大人の事情よりは、感覚的に面白くなって思うほうを選びたいのね。

▼瀬 お互いに、中学3年生の感覚を大事にして言ってます。人が人生の中でいちばんドキドキワクワクしたり、喜んだり泣いたりできるのって、たぶん10代後半だと思ってるんですけど、何か作る時にその感覚は大事にしたいいね。お互い、もうすぐ50のアラフィフですけど、いまだに重員みたいなものなので(笑)

▼江 ははは、「面白いことしてモチたい」が一番の原動力よね(笑)



瀬戸島「今日はギャラクシー賞の受賞式帰りなんです」
江口「うわ、賞状ちっちゃーい」
瀬戸島「どどん大大きくしていきましょうよ」
江口「とりあえず拡大コピーして貼っておこう(笑)」

実際はなかなか上手いかわなくて一生懸命やったりするんだけど。僕は、難しいことというのは、他の人にとっても難しいから諦められているわけで、それを乗り越えれば誰も到達してない領域に行けるんだと思っただけ。常に人と違うことをして驚かせたいし、常に楽しくいたいからこの仕事をしているので、めんどくさいことも含めて日々楽しいです。まあ、一生「童貞感」は持ち続けるんだろうな。

▼瀬 僕もです(笑)。これからも一緒に、今までの面白くないことをどどんん仕掛けていきたいです。

PICK UP JOB



明太子の「ふくや」創業65周年、創業者・川原俊夫の生涯100周年を記念してテレビ西日本が制作した朝の連続ドラマ。2013年8月に放送され、優れたテレビ番組に贈られるATP賞、ギャラクシー賞それぞれの奨励賞を受賞。

◀ 明太子を作った夫婦の生き様を描いた物語。
・8月にDVD(3枚組・9720円税込)発売!
・2015年3月に博多座で舞台公演決定!

愛でたし 伝統文化

第一回 博多織

過去から未来へ。伝統のバトンがつながる現場でその魅力をうかがいます。今回は、博多織職人を育てる「博多織デベロップメントカレッジ」の講師と卒業生のおふたりです。



近藤啓子さん(45)
デザイン会社勤務を経て、「博多織デベロップメントカレッジ」で2年間学び2013年卒業。第48回福岡市美術展で初応募した「月も夢」(帯)が特別賞を受賞。

渡邊福夫さん(78)
この道63年。博多織の伝統工芸士。「博多織デベロップメントカレッジ」では専任教授を務める。「新しい博多織を創りあげてほしい」と若手に技と想いを託す。

【博多織の基礎知識】
1241年、博多商人・満田弥三右衛門が中国から織物技術を持ち帰り、博多織として広めたとされる。江戸時代には幕府へ献上された。多くの経糸(たていと)に、太い緯糸(よこいと)を打ち込んで模様を織り出す厚地の絹織物で、その堅牢さから男帯として重宝されてきた。現在は多彩な女帯も織られる。絹特有の繊細さと「しゃり感」が特長。



7500本の糸の張力を保つ巨大な織り機。扱うのに相当な体力が要る。



糸を巻き取る管(くだ)巻き。作品の完成度を左右する肝心な作業。



二人口を揃えて、「技を磨くのに終わりが無いから面白い!」



近藤さん作「月も夢」。伝統的な「献上柄」を用いたユニークなデザイン。

もっと気軽に和服を着るといいね

—博多織の道に進んだ経緯は?

渡邊(以下、渡) 中学卒業後に近所の工場で丁稚奉公として働き始めました。今の博多区にはかつて織物工場がたくさんあったんです。当時は和装が主で、どどんん売れていました。早く稼ぎたい一心で技術を覚えました。

近藤(以下、近) 私はもともと「和服で生活したい」というぐらい着物が好きで。東京から福岡に戻ってきた時、博多織の学校があるのを知り、これだ!と。募集が40歳までだったのでぎりぎりでした(笑)。今後は手織りで、作家としてやっていこうと思っています。

—お互いの印象は?
渡 2年間毎日和服で通学したあたり、ガッツがあるなと思いました。近 昔気質で真面目で…。でも、

—博多織の魅力は?

渡 今も絹100%で織っている、本物というところが。京都などと比べたら規模も小さいし、根ざしている生活文化も違う。でも、もとの美意識を曲げず正直にやってきたから生き残っているんじゃないかな。

近 私は歌舞伎が好きなのですが、博多織は女郎屋の女将とかシャキシャキした女の人が締めているのが印象的です。それが、丈夫で垢抜けている博多織の特徴とも重なって、粋々たなと感じています。

—博多織を継承していくためには?
渡 若い人たちの感性で新しい博多織を創っていく一方で、和服を着る機会がもっと増えるといいですね。博多織は本来カジュアルな

—博多織の道に進んだ経緯は?

渡 今も絹100%で織っている、本物というところが。京都などと比べたら規模も小さいし、根ざしている生活文化も違う。でも、もとの美意識を曲げず正直にやってきたから生き残っているんじゃないかな。

近 私は歌舞伎が好きなのですが、博多織は女郎屋の女将とかシャキシャキした女の人が締めているのが印象的です。それが、丈夫で垢抜けている博多織の特徴とも重なって、粋々たなと感じています。

—博多織を継承していくためには?
渡 若い人たちの感性で新しい博多織を創っていく一方で、和服を着る機会がもっと増えるといいですね。博多織は本来カジュアルな

KBCシネマ支配人によるシネマ案内
PICK UP MOVIE

7/19
公開

ビヨンド・ザ・エッジ
歴史を変えたエベレスト初登頂



©2013 GFC(EVEREST)LTD.ALL RIGHTS RESERVED
監督: リアン・フリーリー 主演: チャド・モフィット、ソナム・シエルバほか

女性監督によるニュージーランド映画。人類初のヒマラヤ登頂を成し遂げた男たちの姿を描いたドキュメンタリードラマです。養蜂業を営みながら登山活動を行い、1953年イギリス遠征隊の一員に選ばれたエドモンド・ヒラリー。彼の子息の証言や膨大な資料をもとに、いかに内なる葛藤を乗り越えて偉業を成し得たのか…。臨場感あふれる映像により再現されています。ヒマラヤ山系の偉容は目眩がするほどの感動を与えてくれる一方で、山頂近くのテントで夜を過ごす心細さ。風の音の凄さも相まって、本当に山に登っているような気になりますよ。

支配人 宮定貴子 / 福岡県出身。有楽興行に勤務後2011年より現職。年間約250本の映画を鑑賞する。

KBCシネマ <http://www.h6.dion.ne.jp/~kbccine/> TEL 092-751-4268

waが選ぶ耳寄り情報
PICK UP EVENT

『d design travel 福岡』発行記念イベント
d編集部福岡ぐるぐる



1,512円(税込)
D&DEPARTMENT
PROJECT発行

47都道府県をデザインの見線案内する『d design travel』の福岡号が、7月4日に発行されました。誌面では、この先も長く続いていくであろう福岡らしい魅力を独自の基準で厳選し、観光、レストラン、ショップ、カフェ、宿泊施設、人のカテゴリーで掲載。発行記念イベント「d編集部福岡ぐるぐる」は、掲載された「dマーク」各地に本誌を持参すると、オリジナルスタンプを集められるというもの。本をガイドに歩けば、福岡をもっと好きになりそう。

期間: 6月21日(土)~9月30日(火)
場所: 福岡県の「dマーク」各地
編集部推薦ルートや最新情報を、Facebookなどで随時発信中!
<http://www.d-department.com/jp/d-design-travel/>
お問い合わせ: 03-5752-0097 (d design travel 編集部)

神社とアートのしあわせな関係

ART TRIP
in **KYUSHU**

太宰府

イベント



神さまはどこ?
二人の写真家、酒井咲帆氏と前田景氏による、神社の日常を写した写真展。あなたが境内で撮った「神さまの居場所」の写真を投稿するワークショップ「神さまはどこ?」も同時開催中。9月7日(日)迄 / 宝物殿第2・3展示室 / 9:00~16:30(入館は16:00迄) / 一般400円・高大生200円・小中生100円



お祭り
「七夕の宴」7月7日(月)
心字池がライトアップされ、山鹿灯籠踊りやミニ演奏会が開催される。
「夏の天神まつり」
7月24日(木)・25日(金)
夏越おどりでは、浴衣コンテストを開催。25日20:00~「千灯明」。



その時代の作家たちが思い思いに描いて奉納した絵馬が掲げられている。鑑賞しながら、ほっとひと休憩するのにぴったり。



アート作品展示

アートプログラム制作委員会
作品の中には、常時展示されているものも。

サイモン・フジワラ氏による「The Problem of History」(©Simon Fujiwara Collection of Dazai Tenmangu Shrine, Courtesy of TARO NASU, Photo by Sakiho Sakai&Junko Nakata/ALBUS)

古来より文化の交流・発信地である太宰府。また、神社は文芸、芸能などアートと深い関係があります。今回は、ユニークな現代アートの取り組みに注目!

1 太宰府天満宮

“文化の神様”でもある菅原道真公をお祀りする太宰府天満宮。2006年からはアーティストが太宰府で取材・制作・発表するアートプログラムのほか、展覧会なども多数開催。参拝したら、境内のアート巡りも忘れずに。太宰府市幸府4-7-1
TEL 092-922-8225 (9:00~17:00)
西鉄「太宰府」駅より徒歩5分
<http://www.dazaifutenmangu.or.jp/>



季刊 **FUKU-BU GEIJUTSU HOUDAN**
福 釜 藝 術 放 談

9 「交流」の先には...

3月に福岡市文化芸術振興財団などが主催する日韓共同制作プログラム Plan Co zero の「カラスとカササギ」があり、ダンスを中心としたアートプロジェクトだが、私も関連行事のトークセッションに参加した。W A T A G A T A 福岡釜山アートネットワーク 福岡事務局代表の宮本初音さん、釜山出身で、福岡と釜山の演劇交流を進める俳優・演出家のキム・セイルさん(東京在住)と福岡・釜山の交流の現状などを報告しあつた後、来場者一人一人が思いを語り合う時間もあって、いろいろ考える機会となった。

再確認したのは、歴史的にも地理的にも関係の深い福岡と釜山では「交流」と名の付く取り組みは、あらゆる分野で既に頻繁に行われてきて、食傷気味な人も少なくないということだった。

一方で、にもかかわらず、なぜ今また、美術、演劇、ダンスなどの分野で「福岡・釜山」が機運として盛り上がっているのか。それは今までの「交流」とは何が違うのか、ということも考えさせられた。私なりにその後考えたことをここで述べたい。

違う点としては、両地域のそれぞれ熱意のある人たちが「点」で行って来た交流が同時多発的にジャンルや地域を超えて「面」で育まれてきたことが挙げられる



内門 博
西日本新聞記者。近年はホン・サンス監督の映画に夢中。著書に「校歌をうたえば」(書肆侃侃房)。

のではないかな。加えて、今機運が高まっていることについては、福岡にとつての東京、釜山にとつてのソウル、を対置したときに、「福岡・釜山」の芸術家にとつて共通の課題がみえてきていることが大きいような気がしている。

トークセッションで何人かの人から「交流」に代わるキーワードとして「共存」という言葉が出てきた。それは個人的な拡大解釈だが、東京やソウルとは違う尺度でアプローチし、練り上げた作品を「福岡・釜山」で一緒に作り上げることももあるし、作品そのものだけでなく、創作環境も共に「新しくしていくことではないだろうか。引いては社会に対してローカルな「新しい価値観」を「福岡・釜山」で提示していくことだと思ふ。

壮大な話としては昔から福岡人が得意とするところだが、心配なのは福岡の人も、そして釜山の人も「熱しやすく冷めやすい」ことだ。今盛り上がっていることがしばしばないように、土台作りをじっくりと積み上げていくことが肝要だ。



太宰府の街を見渡せる社務所裏の展望テラスに置かれた、ジャスパー・モリソン氏によるラブベンチ。回転する座面で、時に向き合ったり、景色を楽しんだり、人と人の快適な関係性を表している。

かまどをイメージした円形。壁面に貼られた短冊形の濃淡ピンク色の大理石は、神社には様々な人たちの、それぞれの想いや願いが集まっていることを表している。



授与所

2 宝満宮竈門神社
創建1350年の長い歴史を持ち、古来より「結びの社」として親しまれる。2012年に「100年後のスタンダード」をめざして、世界的なインテリアデザイナー片山正通氏らとコラボした改修により、さらに居心地の良い神社に生まれ変わった。太宰府市内山883
TEL 092-922-4106 (9:00~17:00)
西鉄「太宰府」駅よりコミュニティバスあり
<http://kamadojinja.or.jp>



自然のサイクルに沿って1350年の時を越えてきた神社。四季折々の自然を感じられる。

KAMISAMA ARIGATO!



御守

てるてる山守り。山登りの天気や安全だけでなく、私たちの心の「ハレ」の意味もある。



絵馬

2014年の干支絵馬は鹿児島睦氏による「うがいの午」のデザイン。

境内



セリフからはじめる演劇の話

「私たちは時々、
目ではなくて
脳で見るとは、相手を。」

劇団の旗揚げ公演「タンバリン」
の中の台詞です。

アバタもエクボ、とか、夢食う虫
も好き好き、とか言いますね。
そのモノに興味を抱くと、更に越
えて愛が湧くと、私たちは客観視
が出来なくなる事があります。他
からどんなに否定されても、自分
にはどうしても綺麗に見えてしま
う。素敵に見えてしまう。

これは、自分が持っているモノ
(環境諸々)と関係している気が
します。

そのモノがそう見える理由を突き
詰めていくと、自分の事が少し分
かるのかもしれない。

舞台を見て、そこに何が見えるか
というの「目ではなくて脳で見
る」ですね。

見えているモノ以外のモノを想像
し、聞こえている台詞以外の言葉

が胸中に湧いてくるのは、観てい
る人自身の中に埋もれた記憶があ
るからなのでしょう。

私は劇作をする際、この記憶に訴
えたくて、語尾や助詞、リズムに
こだわって言葉を選びます。例え
ば上記の台詞を「〜目じゃなくて
〜」とすると、もう私には全然違
うものになってしまうのですが、

このこだわりは、別の言語圏の人
たちに、通用するの？。いや
いや、ニュアンス云々の前に、芝
居そのものが伝わるのか。どう伝
わるのかと。

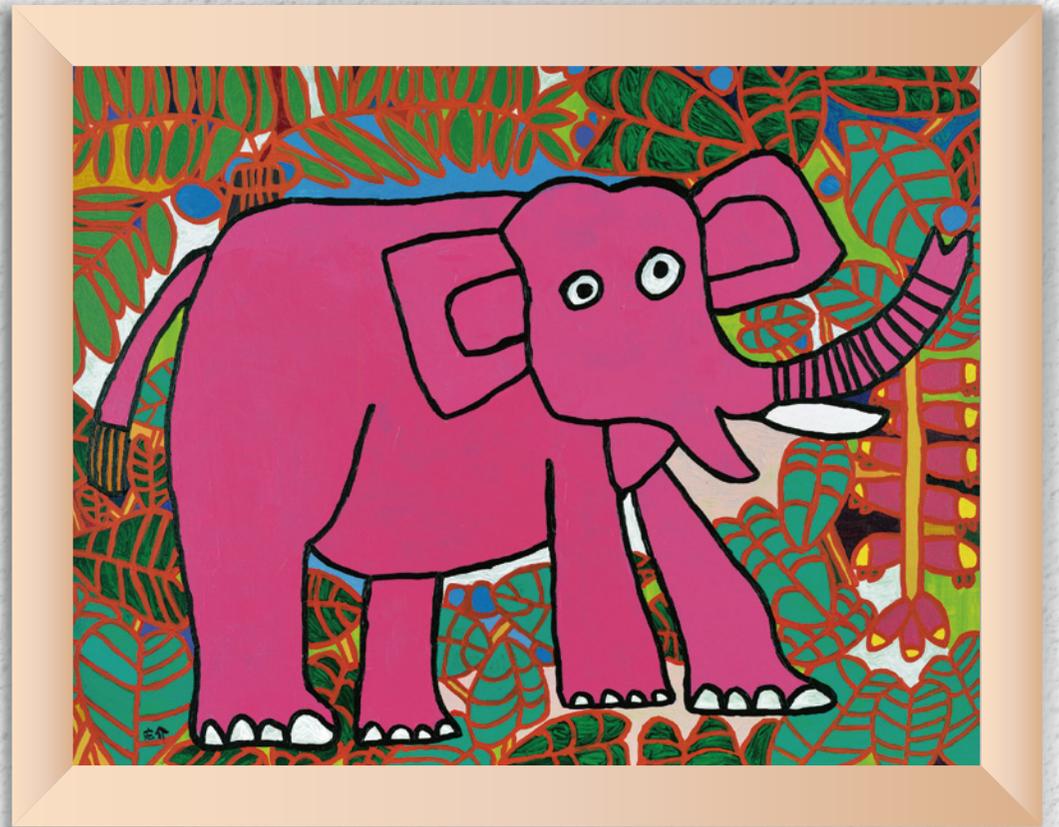
今夏、「タンバリン」を釜山で上
演させて頂くこともあり、これま
で以上に台詞の伝わり方について
考えています。

共有しているモノが多い程、伝わ
り易いのは事実だけれど、同じ言

後藤香 (ごとうかおる)
1967年大分県佐伯市生まれ。
福岡市を拠点に活動する「劇団
go to」主宰・劇作家・演出家・
俳優。2013年、種をテーマにボ
クシングに挑む女性たちを描
いた「タンバリン」で第5回九
州戯曲賞大賞を受賞。8/13・14
福岡、9/13・14 韓国釜山にて「
タンバリン」を公演予定。詳細は
劇団HP
<http://lets-goto.com/>

語を使っている、伝わらないな
んていう事は多々あるわけで、そ
れでもこれまで、台詞の細かな
ニュアンスを大事にしてきたのは、
「自分」を提案し、「他者」を感
じてみたかったからなのかもしれ
ません。共有できている安心感と、
そうでなかった時の孤独感、
きつと両方とも私たちを進化させ
ます。

なので、言語や文化・感覚の違い
は私たちが隔てているようで実は、
近づくこととする衝動を引き起こす、
「人」という種が強くなるように
するが故の長い歴史の一過程なの
かもしれない、という思いと、私
たちは「出立 巨口(脳で見る)」
事が出来る「人」である、とい
う事を味方につけて、今後も台詞へ
のこだわりを持ち続けたいと思
います。



【ゾウとジャングル】

太田 宏介



1981年生まれ。太宰府市在住。2歳
で知的障害を伴う自閉症と診断さ
れる。11歳で絵と出会い、松澤造形
教室で本格的に絵画の道へと進む。
現在は福岡を中心に、東京をはじめ
全国で活動している。2015年秋に
はニューヨークでも個展を開催予定。
<http://www.ohta-kousuke.com/>



© Kohei Kondo

Illustration: Kohei Kondo

九州戯曲賞とは？
九州を拠点とする劇作家による作品を顕彰するため2009年創設。
最終審査員は九州にゆかりの深い著名な劇作家が務める。

文芸

平成26年度 福岡市民文芸

昭和40年から始まった「市民文芸」は今年で50回目。昨年好評だった小説(超短編)を単独のジャンルとして募集するほか、一般の部には22歳以下のユース大賞を新設。感性あふれる作品をお待ちしています。

募集期間: 7月1日(火)~9月5日(金)
 部門: 一般の部・小学生の部・中学生の部
 募集ジャンル: 短歌・俳句・川柳・詩・エッセイ・小説(短編)・小説(超短編)
 ※小学生の部・中学生の部は、短歌・俳句のみ。小・中学生の一般の部への応募可。
 ※入賞・入選作品及び選評を、「文芸福岡第3号」に掲載予定。

ダンス

福岡ダンスフリンジフェスティバル
 ~ダンスの発火点~ vol.8 ダンス作品募集

福岡ダンスフリンジフェスティバルは、出演作品を日本全国・アジア諸国はもちろん、世界各国から募集して開催する、ダンスの一大イベント。7月上旬より、フェスティバルに参加するダンス作品の募集が始まります。この機会にぜひチャレンジしてみてください。詳しい応募方法は、公式ホームページ(<http://d-codex.asia/fdff/>)へ。

<公演概要>
 日程: 2015年2月7日(土)、8日(日)
 会場: ぼんブラザホール、紺屋2023・konya-gallery
 お問い合わせ: NPO法人コデックス
 TEL 080-5259-2577
 E-mail fdffinfo@gmail.com

演劇

FFAC PLUS+ 富士山アネット/Manos.
 「醜い男」

ドイツ演劇界のホープ、マリウス・フォン・マイエンブルクによる傑作戯曲を、富士山アネットの長谷川寧が演出。従来のダンスの演劇(テアターダンス)ではなく、演劇プロジェクト富士山アネット / Manos.(マノス)として「醜い男」を上演します。

日時: 9月22日(月)~23日(火・祝)
 会場: ぼんブラザホール チケット発売日: 7月19日(土)

PICK UP GOODS

FUKUOKA
 OSANPO bag

福岡の名産品や美術館・博物館の所蔵品をモチーフにしたバッグ。昨年3月の発売以来、1,200点以上売れた人気者です。お盆の帰省に、福岡愛のアピールにおひとついかが？



A4サイズ/黒(マチなし)・ネイビー(マチあり)・ナチュラル(マチあり)の全4種 ※写真は黒
 【販売価格】税込500円 【販売場所】福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の各ショップ、東急ハンズ博多店1F「はかた・ひ」(515円)
 【お問い合わせ】 TEL 092-263-6264 (総務課)

ワークショップ

夏休み☆子どものためのパフォーマンスアート

「劇的っ!サマー」
 参加者募集中

天神の街でフラッシュモブ!?する「Acting!」、世界的な振付家チョン・ヨンドウ氏(韓国)と一緒に、ダンス作品を創る「Dancing!」。みんなで最高の夏を楽しんじゃいましょう!



中高生のためのダンスワークショップ Dancing!

【A】自由なカラダ発見!ワークショップ
 日時: 7月27日(日)~29日(火)、7月31日(木)~8月3日(日)
 13:00~17:00(最終日は~19:00)
 ※8月3日(日)発表会(入場無料)
 会場: パビオヒールーム
 参加料: 3,000円(傷害保険料込)
 対象: 中学1年生~高校3年生(未経験者歓迎)
 締切: 7月14日(月)

【B】ダンス経験者のための1day ワークショップ

日時: 7月30日(水) 13:00~17:00
 会場: 福岡市民会館
 参加料: 1,000円(傷害保険料込)
 対象: 中学1年生~高校3年生までのダンス経験者
 締切: 7月14日(月)

10代のための演劇ワークショップ Acting!

日時: 8月21日(木)~8月24日(日)
 10:30~17:30(最終日は~18:00)
 会場: ぼんブラザホール
 参加料: 3,000円(傷害保険料込)
 対象: 小学4年生~19才(未経験者歓迎)
 締切: 8月11日(月)

※申込方法など詳細は財団HPへ。

アート

アートリエ×FT5
 ほころびポスト ~あなたの思いを届けます~

今秋、アジア美術館で開催される第5回福岡アジア美術トリエンナーレ(FT5)。芸術鑑賞した後は、思いを誰かに伝えたくありませんか? 期間中、館内には「アーティストに宛てて手紙が書ける」コーナーを設置します。感想でもファンレターでもOK!ユニークなポストが、あなたの声をお待ちしています。



日程: 9月6日(土)~11月30日(日)
 会場: 文化芸術情報館アートリエ(福岡アジア美術館7階)
 料金: 無料(申込不要)

FFAC INFORMATION

各イベント情報の問い合わせ先

TEL: 092-263-6265 FAX: 092-263-6259 E-mail: pr-co@ffac.or.jp

最新情報は財団ホームページへ <http://www.ffac.or.jp>

演劇

子どもとおとな 演劇のトピラ
 「パンチネロ ~たいせつなきみ~」

木彫りの人形・ウイミックたちの暮らす世界を舞台に、魅力的なキャラクターと寓話的な物語で日本でも大ヒットした絵本「たいせつなきみ」シリーズ原作のオリジナル舞台。心温まるテーマで、子どもも大人も、それぞれの視点で楽しめます。

日時・会場:
 ① 博多市民センター ホール 8月10日(日)14:00~
 ② さいとびあ 西部地域交流センター 多目的ホール
 8月23日(土)14:00~
 ※開場は開演の30分前 / 上映予定時間70分

料金:
 大人...1,500円、子ども(小学生~高校生)...500円、
 親子券①(大人1枚+子ども1枚)...1,800円
 親子券②(大人1枚+子ども2枚)...2,200円
 ※日時指定・全席自由 ※未就学児入場不可(託児有)
 ※当日券は各300円増 ※「わの会」会員は各200円引

7月26日(土)に関連ワークショップ「世界にたったひとつの人形をつくろう!」開催。詳細は財団HPへ。



演出家・広瀬健太郎



パンチネロは劣等感の塊だ。人と自分を比べて溜息ばかりついている。私だってそうだ。活躍中の人間に対して「輝いてるなあ。それに比べて俺ときたら…」とうつぶつぶいばりいる。「人は人、自分は自分」と簡単に言うが、なかなかどうして。心の底から思えない。だが今回の舞台で、「私には私にしかできないコトがある」と気づけるかも。だって私の側にはパンチネロがいる。互いに励まし合えば、最後にはきっと二人で笑顔になれるはずだ。それを信じて全力で挑みたい。

音楽

アトリエ ラウンジ・コンサート vol.6

元九州交響楽団常任指揮者で、現サンタバーバラ室内オーケストラ音楽監督兼常任指揮者の大山平一郎氏がコーディネートする室内楽のコンサート。2003年の「カフェでコンサート」から10年続いている人気企画で、本格的クラシック音楽を間近で楽しめます。



日時: 7月19日(土)18:30~
 会場: 福岡アジア美術館7F彫刻ラウンジ
 (地下鉄中洲川端駅直結)
 料金: 無料(申込不要)
 出演: 大山佳織(ヴァイオリン)、大山平一郎(ヴァイオリン)、
 原田哲男(チェロ)、重松恵子(チェロ)
 ※出演者は、予告なく変更する場合があります。

演劇

演劇大学in福岡 ~ことばのリズム×川上音二郎~

年齢や経験を問わず、演劇の幅広さと奥深さを体験できると好評の演劇大学。今年「ことばのリズム×川上音二郎」をテーマに、演劇合宿、ラップに古典芸能など、多彩なプログラムをご用意しました!



◎子ども一座でおとぎ芝居をつくろう

日本初の子ども向け演劇をつくった音二郎に子どもたちで挑みます。
 日時: 7月25日(金)~7月27日(日)10:30~18:00
 会場: 福岡市民会館
 対象: 小学4年生~高校3年生、全日程参加できる方
 参加費: 3,500円(傷害保険料込) 講師: 流山晃祥

他にも多数予定しています。

- 「川上音二郎を知ろう」7月23日(水)19:00~21:00
 - 「一座で先輩に相談しよう」7月23日(水)~26日(土)
 - 「街頭演劇に出演しよう」7月24日(木)~27日(日)
 - 「自分のことばをラップにしよう」7月26日(土)・27日(日)ほか
- ※詳しくは、財団HPをご覧ください。



第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014

9月6日(土)～11月30日(日)
http://www.fukuokatriennale.ajibi.jp/
ミン・ティエン・ソン (ミャンマー)「異界(馬)」

「交流プログラム」担当者の仕事とは... 前号に引き続き、第5回福岡トリエンナーレ(FT5)のお話です。今回「世界中から集まる36組のアーティストのうち、17組が福岡に滞在し、作品制作やワークショップなどの「交流プログラム」を行います。

おしゃべりな 学芸員



福岡アジア美術館 山本裕子

個々のランナーの距離は長くありませんが、ひとりが完走すれば、すぐ次のランナーがスタートし、また数名が同時並走する場面も...一緒に走る私たちは、会期中まるで全速力でマラソンを走っているようです。

福岡市博物館 <http://museum.city.fukuoka.jp/>

2014NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」

7月26日(土)～9月21日(日)

当館が所蔵する黒田家資料に加え、全国から官兵衛ゆかりの文化財を一室に集めて彼の生涯と当時の激動の時代を紹介。また、軍師としての側面だけでなく、和歌や茶の湯を嗜んだ文化人であった面にも光を当てます。



朱漆塗合子形兜・黒糸威五枚胴具足子具足付 <福岡市博物館蔵>

招待券
5組
10名様

福岡市美術館 <http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

NHK大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具

9月2日(火)～28日(日)

官兵衛が藩祖である筑前黒田家に伝来した美術品約100点を展示。「泰西風俗図屏風」「源氏物語系図」(いずれも重要文化財)や、唐物茶入 銘「博多文琳」をはじめ、障壁画や掛軸、工芸品、絵巻などきらめく大名道具を一室で紹介。



唐物茶入 銘「博多文琳」明時代

招待券
5組
10名様

福岡アジア美術館

NTT西日本スペシャル おいでよ!絵本ミュージアム2014

7月25日(金)～8月17日(日)

第8回目となる今回は、想像力をかきたてるファンタジー絵本や古今東西の民話や昔話など、「ふしぎなたび」がテーマ。大胆なデザインに空間に並ぶ絵本1000冊と原画とともに、多彩なイベントもお楽しみに。



絵本ミュージアム

招待券
5組
10名様

九州国立博物館 <http://www.kyuhaku.jp/>

特別展「クリーブランド美術館展 ―名画でたどる日本の美―」

7月8日(火)～8月31日(日)

1913年アメリカ・オハイオ州に創立されたクリーブランド美術館から、全米屈指の規模と質を誇る日本美術コレクションが里帰りします。また、ピカソ、モネ、ルソーなどのフランス近代絵画の名品も特別公開します。*月曜休館(但し、7月21日(月・祝)、8月11日(月)は開館、7月22日(火)は休館)



龍虎図屏風(右隻) 雪村周継筆 室町時代・16世紀 クリーブランド美術館蔵 ©The Cleveland Museum of Art

招待券
5組
10名様

ART EVENT CLIPS

MIZOE ART GALLERY

第8回青木繁「海の幸」オマージュ展

9月6日(土)～21日(日)

青木繁「海の幸」誕生の家(千葉県館山市)保存のためのチャリティ企画。青木繁に憧れた現役作家たちの力作をご覧ください。参加作家:中山忠彦、奥谷博、絹谷幸二、大津英敏(ほか80余点)



福岡市中央区地行浜1-2-5
10:00～19:00 会期中は無休
TEL:092-738-5655

アートスペース襲

野村佐紀子写真展

8月11日(月)～24日(日)

仄かな光りの中で被写体と向き合い、粒子が粗い作品を得意とする。そこに現実と非現実の独特の境界世界が表現される。被写体は男性のヌードや日常の風景、花など。英国のテート美術館に作品が10点収蔵されている。



福岡市中央区天神3-4-14 11:00～20:00
TEL:092-781-7597

Gallery MORYTA

武内明子展

9月6日(土)～28日(日)

東京を拠点に国内外で個展を開催。2009年より麻生知子と「ワタリドリ計画」の活動を始め、日本全国を旅し展覧会を行っている。福岡では初個展。*6日16:00～作家在廊予定



福岡市中央区赤坂3-9-28 ROFUTEXI 赤坂2F
11:00～20:00 月休
TEL:092-716-1032

konya-gallery

希望の家:モンティエンへのオマージュ/ ナウインからの手紙

9月6日(土)～23日(火・祝)

福岡を拠点にグローバルな活躍を続ける、タイ出身のアーティスト、ナウイン・ラワンチャイクによる、モンティエン・ブナーへの追悼を表すヴィデオ・インスタレーション。



福岡市中央区大名1-14-28第一松村ビル2F
12:00～19:00 *9/9・16日休 入場無料
TEL:092-984-6292

ギャラリー尾形

山本宗平展

7月12日(土)～26日(土)

33歳の若手作家。アメリカで絵を学び、現在は国内・世界で活動を展開。今展ではポルトガルに取材された新作油彩画作品を展示します。



お祝いの日

福岡市中央区赤坂2-4-3
11:00～19:00 *7/14日休
TEL:092-713-1835

三菱地所アルティウム

スノーマンの世界展

～THE SNOWMAN FANTASY WORLD～

7月31日(木)～8月31日(日)

長年愛されてきた「スノーマン」の世界を、絵本原画をはじめアニメーションの絵コンテ、スケッチなどでご紹介。真夏に、真冬の夜空へと誘う「スノーマン」の世界をお楽しみ下さい。



© Sdog Ent 2014

入場料:一般400円/学生300円/高校生以下無料
福岡市中央区天神1-7-11 イムズ8F 10:00～20:00
TEL:092-733-2050

博多座

ミュージカル「レディ・ベス」

8月10日(日)～9月7日(日)

「エリザベト」などのクンツェ、リーヴァイ、小池修一郎のゴールドトリオがエリザベス一世の激動のドラマを描く。世界初演の話題作!



Photo by Leslie Kee

福岡市博多区下川端町2-1
TEL:092-263-5555

アクロス福岡

フランス国立リヨン管弦楽団

7/15(火) 19:00～
福岡シンフォニーホール

世界で活躍する天才ヴァイオリニスト五嶋龍が名匠スラットキン率いるフランスの名門オーケストラと来福。GS席16,000円 S席 14,000円 A席 12,000円(B.C席完売)



©Universal Music

福岡市中央区天神1-1-1
TEL:092-725-9112

福岡市総合図書館

映像ホールシネラ

中村錦之助特集

7月2日(水)～27日(日)

「一心太助 天下の一大事」「宮本武蔵 一乗寺の決斗」「浪花の恋物語」など全12作品を上映。*休館日・休映日除く



真剣勝負

福岡市早良区百道浜3-7-1
TEL:092-852-0600

【編集後記】

今号から全面リニューアルしました。「福岡のアートっていいね!」の声が増えていくよう、感度の高い情報発信と、楽しい誌面を目指します。ひと回り小さくなった本誌をお供に、実際にアートの現場に出かけ、触れてみてください。(内田)



読者プレゼント!

下記を明記のうえ、郵便ハガキ、FAX、またはメールにてご応募ください。

- ご希望のプレゼントの美術館・博物館名
- 住所・氏名・年齢・電話番号
- 「wa」を手にした場所
- よかったページ
- 興味があなかったページ
- 本誌以外で、アートに関する情報をどこから得ていますか
- 本誌や財団に期待すること、ご意見など

福岡市文化芸術振興財団 機関誌「wa」編集部
応募先 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-10福岡県消防会館6F
Fax:092-263-6259 Email:pr-co@ffac.or.jp

プロフィール

雷田いづみ / ギャラリー勤務の傍ら、ギフトコーディネーターとしても活躍。All About「お祝い・ギフト」ガイドのほか各種メディアで発信中。

店舗情報

福岡市中央区赤坂3-4-31
12:00～19:00 月休
TEL 092-712-7200
<http://www.heis-g.com/>

「ヘイズギャラリーのあるけやき通りは、沿道の緑に瀟洒な店が軒をたなねる美しい景観で、何はなくとも散歩しなくなる道です。私たちが扱うのは、国内外の現代アート。よく「現代アートってわからない」と言われますが、まずは歩いてみて、「好き嫌い」で構わないんです。気に入った作品を身近に置くことで自分の暮らしがより良く変わるもの、それがアートではないでしょうか。私もアートの世界に足を踏み入れたのはつい昨年です。長年広告業界で「ギフトコーディネーター」として贈り物選びのお手伝いをしてきました。今アーティストの方々と直接関わるようになり、アートの才能こそ人に与えられた最高のギフト(ART GIFT)だと思いつき、立場は変わっても、自信を持って「価値ある品」をお薦めしています。ギャラリーの仕事はじつは結構ハードな体力勝負。展示のため、大きな荷物やダンボールと格闘は日常茶飯事です。でも博多っ子ですから、何のこれしき。積極的に海外のアートフェアに出展し、世界へ羽ばたいた作家を応援しています。もともと何かを生み出すパワフルな福岡です。夢は大きく、この通りに日本現代アートを牽引するムーヴメントを起こしたいと思っています。」

vol.1 HEIS GALLERY

福岡 / ギャラリー / さんぽ